

テーマ

子ども・保護者理解を深めながら、それぞれに合った関りを見出していこう。 ～実践シートを活用して～

内容

- ・実践シートを活用し、子どもの姿に現れているその原因を探っていく。
- ・子どもに成長が見られたとき、振り返ったら自分たちはどのような支援や関りをしてきたのかと思う。無意識でしてきた支援を意識化していくことが大切ではないか。
- ・事例を通して他の職員も考えていける機会になるのではないか。

参加者の声

- ・原点に立ち返って、今はどんな育ちまで進んでいるのかを考えていける。
- ・実践シートを使うと、他の保護者の話も聞け、自分に浸透しやすい。
- ・多面的に観ると、意外なところから質問が出てきて、考えるきっかけになる。
- ・園の職員みんなが、実践シートを通して子どもの姿や保育者の関りに立ち返ることができるのでは。
- ・発達支援として考えがちになったり、保護者に伝えることも難しい。
- ・シートは計画止まりになっていて、「経過と変容」「成果と課題」等まで進みにくい。

保護者の本当の思いが見えにくい。

保護者の思いに寄り添うとはどういうことか。

保護者の中には介入してもらいたくない人もいます。

話保護者の実態をどれくらいつかめているか。

「話をしたい」「受け止めてもらいたい」「子どものことを褒めてもらいたい」という保護者も多いのではないか。

今年度の新リーダーです！
よろしくお願いします！

次回の予定

- 第2回親育ち支援地域別交流会連絡会
- ・日時：6月28日（金）14：00～
- ・内容：実践シートの検討